

東京インターカレッジコープの学生委員会活動の展開

木村真那*1・鶴田英人*2・石毛昭範*3
Email: n42527@st.takushoku-u.ac.jp

- *1: 東京インターカレッジコープ 拓殖大学商学部会計学科
*2: 東京インターカレッジコープ 拓殖大学商学部経営学科
*3: 東京インターカレッジコープ 拓殖大学商学部教授

◎Key Words インターカレッジコープ, 組織活動, 学生委員会

1. はじめに

インターカレッジコープは、『生協のない学園に通う学生・院生・教職員のための大学生協』です。全国大学生生活協同組合連合会には、210以上の大学生協が加盟しておりますが、全ての学園に大学生協があるわけではありません。そこで、学園内に生協がなくても、生協のサービスを利用したいという願いに応えるべく、生活協同組合 東京インターカレッジコープは、1993年に設立され、東京都より認可を受けました。東京都内の生協がない学園に通う方や、東京都内に在住で都外の生協がない学園に通う方が対象となります。生協のない学園に通う方ならどなたでも組合員になれ、その中で学生を中心とした組合員の願いを叶えるために活動しているのが東京インターカレッジコープ学生委員会です。主に他大学の学生と協力をしながら学生向けのイベントを企画運営し、機関誌を発行して活動しています。

2. 学生委員会活動

2.1 新入生歓迎イベント山手線すごろく

**春のインカレツアー！
山手線すごろく 2017**

日時：2017年4月23日(日) 10:00集合
集合場所：JR原宿駅 表参道口 GAP前
参加費：無料（※食事代は各自負担）
解散：渋谷17:00予定
参加申込〆切：4月16日(日)まで
※申込〆切を過ぎてしまった方は、メールにてお問い合わせください。

他大学の友だちをこころう！

ご入学、ご進学おめでとうございます！
今年もやりませう。山手線すごろく「山手線すごろくは各駅をすごろくのマスに見立て、お題をクリアしながらゴールを目指すイベントです（グループは当日発表）。大学生活が不安な人も楽しみな人も、もちろん上級生も参加しよう！

▼参加方法はコチラから▼ 
<http://tic.coop/gi/shinkan.html>

大学生協 東京インターカレッジコープ 学生委員会
Twitter: 「@coopic」 フォローしてね☆
メール: ficc.gi@gmail.com

図1 新入生歓迎イベント広報用資料

毎年4月に新入生歓迎イベントとして「春のインカレツアー 山手線すごろく」を開催しています。山手線すごろくとは、山手線各駅をすごろくのマスに見立て、お題をクリアしながらゴールを目指すイベントです。他大学の学生と交流する機会を通して、友だちを作ってもらふこと、今後の大学生活に役立ててもらふことを目的として行っており、毎年新入生に参加してもらっています。今年は新入生が1人と少ない参加でしたが、他大学からお手伝いとして参加して下さった上級生の助けもあり、イベントを成功させることができました。来年はお題を変えることや、全く新しい別のイベントを企画する等、新入生の参加増加に工夫が必要だと考えます。

2.2 機関紙の発行

SWITCH 東京インターカレッジコープ 学生委員会 機関紙 第10号

学生どうしのたすけあい 学生総合共済
もうすぐ春休み! 留学体験記〜セブ島〜

新入生歓迎イベント
「春のインカレツアー山手線すごろく」

☆言メールコーナー☆

大学生協の言メールカードを知ってほしいから言メールカードは、希望や疑問を多くと質問さんや学生委員が回答してくれる言メールカードです。インカレでは言メールカードではありませんが、メールでも質問や意見を募集します！「学生委員としての活動しているのや」「機関紙でどんな記事を取り上げてほしい!」など何でも聞いてください。
コトばさるの言メールカード!」

メール: ficc.gi@gmail.com
Twitter: @coopic (リアライブ、DMもお待ちしています。)
※大学生協・学生・教職員(ペンネーム明)を記載ください!

作誌: せもら

図2 機関紙第10号表紙

2年ぶりに学生委員会の機関紙「Switch」が復刊し、3号発行しました。就職活動に関することや、留学体験記、一人暮らしの方向けの自炊レシピ等、大学生活を送る上で学生が知りたいことをメインに発信しています。また、組合員の声を集める方法として機関紙に「メ

ールコーナー」を設けました。年に4回の発行を目標にすることで、機関紙の復活を機に学生委員会の活発な活動展開を目指します。

2.3 エリアミーティングへの参加



図3 機関紙第10号「共済について知ろう」

東京ブロックや武蔵野エリア主催の企画に積極的に参加することで、他生協の学生委員会活動情報を収集しました。昨年は、「店舗活動」「新学期活動」「共済活動」をテーマとしたエリアミーティングに参加しました。大学生協について理解を深めるだけでなく、他大学と自大学で行なっている活動を共有し、学びや交流によって成長することができるのと同時に、大学生協の連帯の力を感じることができました。そこで学んだ情報をもとに、機関紙「Switch」10号に「共済について知ろう」を掲載することができ、組合員にも配布しました。今年も積極的な参加を目指し、東京インターカレッジコープ学生委員会活動の幅を広げていきたいと考えています。

2.4 Peace Now! Hiroshima への参加



図4 機関紙第9号「Peace Now! in Hiroshima」

昨年8月5～9日に全国大学生協連合会主催の「Peace Now! Hiroshima」に学生委員2名が参加しました。全国から集まった学生が、原爆を投下された広島、長崎、地上戦が行われた沖縄の3か所それぞれを舞台に、3泊4日かけてフィールドワークや戦争体験者の話を聞き、戦争や平和についての知識を深められます。また、様々な価値観を持った学生同士で「平和」というテーマで深い交流ができました。

広島原爆被害をイメージすると原爆ドームが浮かぶと思いますが、それだけではありません。韓国人原爆犠牲者慰霊碑という碑があります。当時日本は日韓併合によって、朝鮮を植民地としていました。戦時中の労働不足を補うため、多くの朝鮮人が日本で働かされていました。広島には10万人もの朝鮮人が在住しており、2万人以上の方が亡くなりました。このことから言えるのは、被害国は日本だけではないこと、むしろ日本が加害国であるともいえます。私たちは戦争や被爆者の声を生で聞くことのできる「最後の世代」です。このことを心にとどめ、後世に伝えていくために機関紙へ活動報告を掲載しました。

3. おわりに

一昨年まで東京インターカレッジコープ学生委員会 は人数減少により、活動が停滞している状況にありました。現在、学生委員会は5名まで増え、昨年は積極的に他大学との交流や機関紙発行に取り組みました。今後の課題として、さらなる学生委員の獲得を目指すことが挙げられます。機関紙では一方的な発信だけでなく、組合員の声も取り入れていくために、メールコーナーを活発にしていきたいと考えています。また、東京インターカレッジコープの存在を多くの人に知ってもらい、活動の幅を広げることで、学生委員会活動の意欲を掻き立てていきたいです。